

# 住宅の再建等に関する意向調査（第2回） 結果

## 1. 調査概要

<実施目的> 以下の方への住宅再建に関する意向確認

- ①「災害公営住宅」「町営住宅（戻り）」への入居をお考えの方
- ②上記①以外の再建をお考えの方

<実施期間> 令和2年8月12日から令和2年8月21日

<対象者> 住宅の再建等に関する意向調査（第1回）において「再建済」と回答された方以外の方

## 2. 回収結果

種別	配布数	回答数	回収率
プレハブ	158	158	100.0%
みなし	88	88	100.0%
その他（在宅）	108	103	95.4%
総計	354	349	98.6%

## 災害公営住宅入居希望者

配布数	回答数	回収率	建設戸数	入居希望者数
249	244	98.0%	50	59

### 1. 希望間取り

世帯人数	間取り							計
	1LDK	2LDK	3LDK	2DK	3DK	4DK	無記入	
1人	14			13			4	31
2人	0	11		4			2	17
3人	0	2		0	4		0	6
4人	0	0	1	0	0	1	0	2
5人	0	0	0	0	0	2	0	2
6人	0	0	0	0	0	1	0	1
計	14	13	1	17	4	4	6	59

### 2. 希望する住宅の構造・階層

木造	1階	2階以上	無記入	計
希望者数	20	5	4	29
RC造	1階	2階以上	無記入	計
希望者数	1	26	0	27
無記入	1階	2階以上	無記入	計
希望者数	1	1	1	3
計				59

### 3. スロープが必要な世帯数

	木造		RC造	
	1階	2階以上	1階	2階以上
希望者数	9	1	1	7
計	9	1	1	7

### 4. ペット飼育世帯数

	木造	RC造	計
1階	1	0	1
2階以上	2	4	6
計	3	4	7

### 5. 車の保有台数

	0台	1台	2台	3台	4台	5台	無記入	計	世帯平均
希望者数	7	33	11	2	1	0	5	59	0.9
車台数計	7	33	22	6	4	0	5	77	1.3

※住宅戸数毎に最低1台分の駐車場確保が必要なため、0台及び無記入に車台数を算入している。

### 6. 新しい住宅で近所になりたい人

特にいない	41
被災時住所の近隣の人	8
同じ仮設団地の人	3
その他	7
計	59

その他で記載あったものの回答内容：  
両隣、男性1人世帯は避けて欲しい

### 7. 入居後の考え方について

永住	50
新築・購入等により他に住宅を取得したら転居 住宅予定年数3年以上	6
新築・購入等により他に住宅を取得したら転居 住宅予定年数3年未満	2
無記入	1
計	59

## 災害公営住宅を希望しない方の再建について

### 1. 再建方法

	プレハブ	みなし	その他	計	主な再建先
修繕・改築	13	22	44	79	町内
建替え	5	9	5	19	町内
新築	13	10	3	26	角田市、県内
購入	2	6	2	10	角田市、県内
賃貸	2	8	6	16	角田市、亶理郡、仙台市
再建済	3	2	8	13	町内、未記入
その他	4	0	18	22	親戚等同居
計	42	57	86	185	

### 2. 再建時期

令和3年3月まで（今年度内）	34
令和3年4月～12月まで（令和3年内）	45
令和4年以降	6
無記入	100
計	185

## 町営住宅戻り入居希望者

配布数	回答数	回収率
105	105	100.0%

希望する地区	
神明	77
竹谷	13
無記入	3
計	93

建設戸数	入居希望者数
110	93

### 1. 希望間取り

地区名	間取り 世帯人数	1LDK	2LDK	3LDK	2DK	3DK	4DK	無記入	計
		(Cells with diagonal lines are omitted in the original image)							
神明	1人	15	1		17			6	39
	2人	1	11		8			0	20
	3人	0	6		0	8		0	14
	4人	0	0	1	0	0	0	0	1
	5人	0	0	0	0	0	2	0	2
	6人	0	0	0	0	0	1	0	1
	無記入	0	0	0	0	0	0	0	0
竹谷	1人	1			4			0	5
	2人	0	2		0			0	2
	3人	0	0		0	1		0	1
	4人	0	0	0	0	0	1	0	1
	5人	0	0	0	0	1	2	0	3
	6人	0	0	1	0	0	0	0	1
	無記入	0	0	0	0	0	0	0	0
無記入	1人	0			0			0	0
	2人	0	0		0			0	0
	3人	0	0		0	0		0	0
	4人	0	0	0	0	0	0	0	0
	5人	0	0	0	0	0	0	0	0
	6人	0	0	0	0	0	0	0	0
	無記入	0	0	0	0	0	0	3	3
計	1人	16	1		21			6	44
	2人	1	13		8			0	22
	3人	0	6		0	9		0	15
	4人	0	0	1	0	0	1	0	2
	5人	0	0	0	0	1	4	0	5
	6人	0	0	1	0	0	1	0	2
	無記入	0	0	0	0	0	0	3	3
総計		17	20	2	29	10	6	9	93

※神明地区の1人世帯で2LDK希望者については、調査結果のとおり算定

## 2. 希望する住宅の構造・階層

木造	1階	2階以上	無記入	計
神明	42	3	8	53
竹谷	8	2	1	11
無記入	0	0	0	0
計	50	5	9	64
RC造	1階	2階以上	無記入	計
神明	3	21	0	24
竹谷	0	0	0	0
無記入	0	0	0	0
計	3	21	0	24
無記入	1階	2階以上	無記入	計
神明	0	0	0	0
竹谷	1	0	1	2
無記入	0	0	3	3
計	1	0	4	5
総計				93

## 3. スロープが必要な世帯数

	木造		RC造	
	1階	2階以上	1階	2階以上
神明	8	0	2	1
竹谷	1	0	0	0
計	9	0	2	1

## 4. ペット飼育世帯数

	木造	RC造	計
1階	2	1	3
2階以上	1	1	2
計	3	2	5

## 5. 車の保有台数

	0台	1台	2台	3台	4台	5台	無記入	計	世帯平均
神明	14	31	17	4	0	1	10	77	0.7
竹谷	0	6	4	1	0	0	2	13	0.7
無記入	0	0	0	0	0	0	3	3	
車台数計	14	37	42	15	0	5	15	128	1.4

※住宅戸数毎に最低1台分の駐車場確保が必要なため、0台及び無記入に車台数を算入している。

## 6. 新しい住宅で近所になりたい人

特にいない	57
被災時住所の近隣の人	13
同じ仮設団地の人	3
その他	20
計	93

その他で記載あったものの回答内容：

隣は女性世帯希望、親族等

## 7. 入居後の考え方について

永住	75
新築・購入等により他に住宅を取得したら転居 町営住宅予定年数3年以上	9
新築・購入等により他に住宅を取得したら転居 町営住宅予定年数3年未満	1
無記入	8
計	93

## 町営住宅戻り入居を希望しない方の再建について

### 1. 再建方法

	プレハブ	みなし	その他	計	主な再建先
新築・購入	1	0	2	3	町内、柴田町
賃貸	0	1	0	1	仙台市
再建済	0	0	1	1	未記入
その他	0	0	7	7	実家等
計	1	1	10	12	

### 2. 再建時期

令和3年3月まで（今年度内）	2
令和3年4月～12月まで（令和3年内）	0
令和4年以降	1
無記入	9
計	12

※次ページ以降、意向調査票様式

# 住宅の再建等に関する 意向調査(第2回)の実施について

## <実施目的>

以下の方への住宅再建に関する意向確認

- ① 「災害公営住宅」への入居をお考えの方
- ② 上記①以外の再建をお考えの方

## <実施期間>

令和2年8月12日(水)～令和2年8月21日(金)

## <回答期限及び方法>

令和2年8月21日(金)

同封の返信用封筒にて本調査票を郵送願います。

## <対象者>

住宅の再建等に関する意向調査(第1回)において「再建済」と回答された方以外の方

**本調査は、災害公営住宅、町営住宅への入居申し込みではありません。**

**建設課 建築住宅班 ☎0224-72-3032  
被災者支援室 ☎0224-87-7225**

# 下記必要事項を記入のうえ

次ページから順に選択又は記入ください。

**注：無記名及び複数回答、記入漏れがないようにお願いします。**

世帯主氏名

上記署名により丸森町建設課及び被災者支援室職員が「災害公営住宅入居希望者数」把握のため、私及び私と同居する家族の必要な住民登録情報並びに前年の収入状況について関係部署から情報提供を受けることに同意します。

年齢： 歳

性別：男・女

被災時住所 〒

現在の住所 〒

電話番号

※日中連絡可能な番号を記載願います。

# 災害公営住宅を希望しますか。

(いずれか1つに○)

※本調査記載時点でのお考えで構いません。

1. 希望します。



次のページへお進みください。

2. 希望しません。

あわせて今後の予定等 (1) ～ (3) を選択・記入願います。

(1) 再建方法

- ①被災した住宅を修繕・改築
- ②被災した現地における建替え
- ③被災した現地から移転して新築
- ④被災した現地から移転して購入
- ⑤賃貸住宅 (戸建て・アパート等) に入居
- ⑥すでに再建済
- ⑦その他 【                      】

(2) 再建する場所と具体的な予定地等

- ①丸森町内 (                      地区) 例：館矢間地区
- ②丸森町外 (                      ) 例：角田市

※右記 (3) へ続く

(3) 再建する時期

- ①令和3年3月まで (今年度内) に再建
- ②令和3年4月～12月まで (令和3年内) に再建
- ③令和4年以降に再建

※具体的に時期が決まっている方は以下に記入願います。

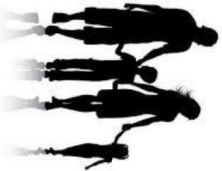
→令和      年      月

**災害公営住宅への入居を希望しない方は以上で意向調査は終了となります。本調査票を返信用封筒に入れ郵送願います。**



### 3. 入居する世帯人数は？

( ) 人



### 4. 同居する家族のうち、日常的にスロープが必要な方(車イス、高齢者手押し車等)はいますか？

(いずれか1つに○)

1. いる

2. いない



### 6. 希望する住宅のタイプは？

(いずれか1つに○)

1. 木造低層階タイプ (1～2階)

2. マンションタイプ  
(鉄筋コンクリート (RC) 造4階建て)

※マンションタイプはエレベーターがあります。

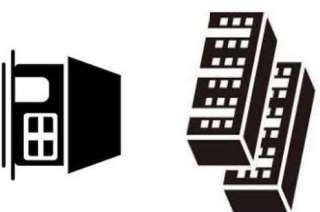
### 5. 希望の間取りは？

(該当するところ1つに○)

※各間取りイメージは同封の「災害公営住宅・町営住宅整備方針説明会資料」及び8ページの「2DK・2LDKイメージ」をご覧ください。

※各間取りの家賃の目安は7ページで計算できます。

世帯の人数	1LDK	2LDK	3LDK	2DK	3DK	4DK
1人						
2人						
3人						
4人						
5人以上						



### 7. 希望する階層は？

(いずれか1つに○)

1. 1階

2. 2階以上

※L (リビング) D (ダイニング) K (キッチン) 例：2LDKは、LDKに加え、2つの居室あり。

## 8. 現在のペットの有無と状況？

(いずれか1つに○)

1. 飼っていません。

2. 飼っています。

※室内外どちらかに○

①イヌ 匹 (室内・室外)

②ネコ 匹 (室内・室外)

③その他 ( )

匹 (室内・室外)

※ペット同伴入居については検討中ですが、

室外では飼えません。



## 9. 新しい住宅で近所になりたい人はいるか？

(いずれか1つに○)

1. 特にいない

2. 被災時住所近隣の人

3. 同じ仮設団地内の人

4. その他

( )

## 10. 車両保有台数？

( ) 台



業務目的の車両は災害公営住宅・町営住宅の駐車場に停めることはできません。

## 車を使用する方の朝の通勤時間は？

1 台目 ( : ごろ)

2 台目 ( : ごろ)

3 台目 ( : ごろ)

4 台目 ( : ごろ)

※世帯全台数分記載願います。

## 11. 入居後の考えについて

(いずれか1つに○)

1. 永住

2. 新築・購入等により、他に住宅を取得したら転居する。

(町営住宅居住予定年数 3 年以上)

3. 新築・購入等により、他に住宅を取得したら転居する。

(町営住宅居住予定年数 3 年未満)

## 12. 住宅に関して不安なこと

※自由記載

意向調査はこれで終了です。お疲れ様でした。本調査票を返信用封筒に入れ郵送願います。

## (参考)災害公営住宅について

### (1) 災害公営住宅とは

災害により本町では相当数の住家で全壊被害があったため、公営住宅法第8条により国の補助の特例を受けて新たに整備する、被災者専用の町営住宅です。

### (2) 入居要件

- ①災害時に居住していた住家が、修繕や補修では住宅の機能を回復することができない程度の損傷を受け、住宅を失った方 (原則解体)
  - ②入居を希望する世帯の合計所得が基準以下の方
  - ③持ち家を新築又は修繕したり、被災後に民間の賃貸住宅 (みなし仮設住宅を除く) へ入居していない方
  - ④暴力団員でないこと
- 上記①～④の全てに該当する方が対象となります。

### (3) 想定家賃

災害公営住宅の家賃は、丸森町営住宅条例に基づき、入居する住宅の規模・設備、所得状況、さらに各世帯の状況によって異なります。そのため、次表は住戸タイプ別の標準的**家賃の目安となります。**

(単位：円)

収入 分位	住戸タイプ 月額所得の目安	1LDK(2DK) (45～60㎡)	2LDK(3DK) (55～70㎡)	3LDK(4DK) (65～80㎡)
		0～104千円以下	15,000 ～ 20,700	18,300 ～ 24,200
一般	104千円超～123千円以下	17,300 ～ 23,900	21,100 ～ 27,900	25,000 ～ 31,900
	123千円超～139千円以下	19,800 ～ 27,300	24,200 ～ 31,900	28,600 ～ 36,500
	139千円超～158千円以下	22,300 ～ 30,800	27,200 ～ 36,000	32,200 ～ 41,100
	158千円超～186千円以下	25,500 ～ 35,300	31,100 ～ 41,100	36,800 ～ 47,000
階層	186千円超～214千円以下	29,400 ～ 40,700	35,900 ～ 47,500	42,500 ～ 54,300

**裏面で家賃の目安を計算できます。**

※月額所得の算定は、家族構成等によって異なるため、各世帯の状況を確認した上で家賃を決定します。また、入居後も所得状況等により毎年度変動します。

※上表はR2.6.30現在の丸森町営住宅条例をもとに算出した目安となります。

# <家賃目安のシミュレーション>

## ステップ1 入居世帯の所得(年額)を計算する。

給与収入	給料・俸給・賞金・賞与等の 支給された金額 (各種手当等含む)
年金収入	厚生年金・共済年金・国民年金等の 課税対象となる年金又は恩給の支給された金額
事業収入等 ※給与・年金以外	事業所得・配当所得 不動産所得等の所得 (収入から必要経費を差し引いたもの) 保険の外交・個人(企業)年金の給付金など

	給与収入	年金収入	事業収入等 ※給与・年金以外	合計
申込者本人の所得	円	円	円	円
同居親族Aさんの所得	円	円	円	円
同居親族Bさんの所得	円	円	円	円
同居親族Cさんの所得	円	円	円	円
合計	円	円	円	円①

- ◆給与収入  
勤務先発行の源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」
- ◆年金収入  
65歳以上：年金収入金額から120万円を差し引いた額  
65歳未満：年金収入金額から70万円を差し引いた額
- ◆事業収入等  
確定申告書所得金額の合計額

<計算対象とされない収入>

1. 遺族年金・障害年金・生活保護の各扶助費・通勤手当の非課税額・求職者給付金(失業保険)・児童扶養手当・子ども手当などの課税対象とならない収入については「0円」とみなします。
2. 生命保険、損害保険の保険金については収入とみなしません。
3. 入居契約日前までに退職する場合の収入については、「0円」とみなす。
4. 入居資格確認日の時点で、支給額が1か月に満たない収入は「0円」とみなします。

## ステップ2 控除額(世帯の状況)を計算する。

No.	控除名	控除の内容	控除額
1	親族控除	同居する親族(申込本人は除く) 及び遠隔地扶養親族	1人につき 380,000
2	特定扶養 親族控除	扶養親族(配偶者を除く)及び 遠隔地扶養親族のうち満16歳以上23歳未満	親族控除の他に 1人につき 250,000
3	障害者控除	障害者手帳(身体・精神・療育)の 交付がされている方がいる場合	親族控除の他に 1人につき 270,000 特別障害 400,000
4	老人扶養控除 老人配偶者控除	満70歳以上の同一生計配偶者あるいは 扶養親族がいる場合	親族控除の他に 1人につき 100,000
各種控除の控除額計			円②

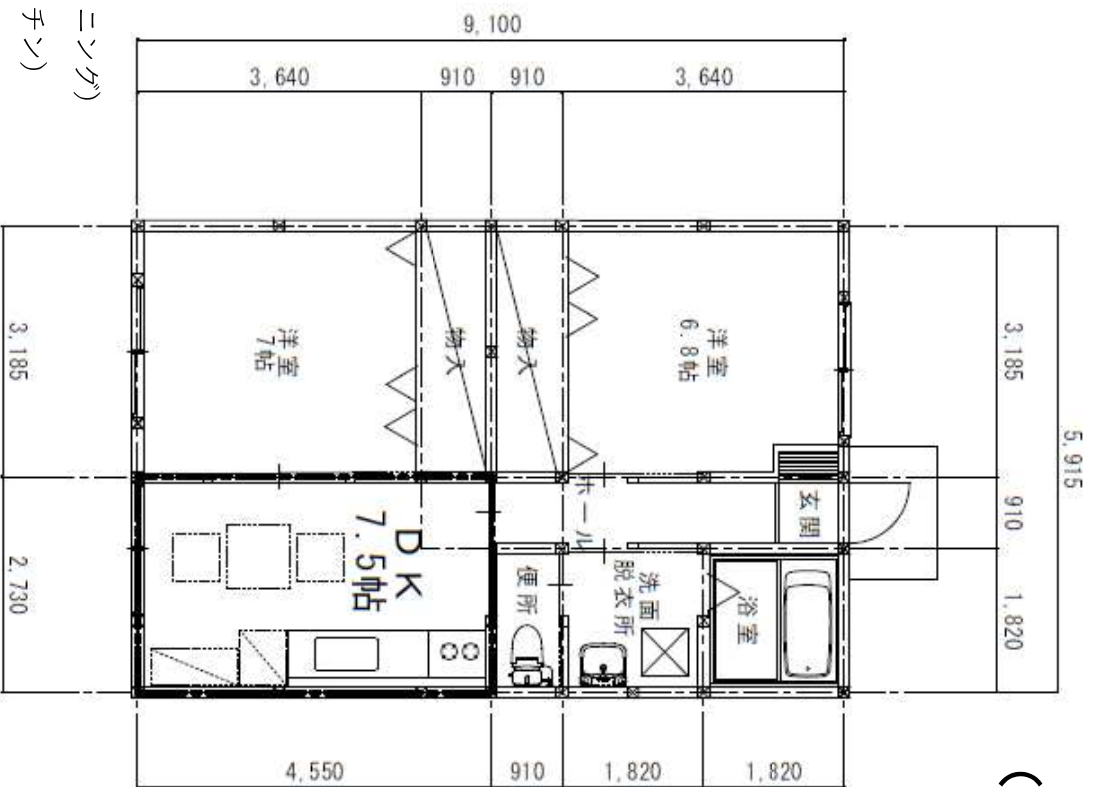
※そのほかに「寡婦控除」「寡夫控除」がございますが、  
控除内容については、お問い合わせ願います。

## ステップ3 月額所得を計算する。

$$\left( \begin{array}{|c|c|} \hline \text{世帯所得の合計} & \text{円} \\ \hline \text{①} & \end{array} \right) - \left( \begin{array}{|c|c|} \hline \text{控除額の合計} & \text{円} \\ \hline \text{②} & \end{array} \right) \div 12 \text{ か月} = \begin{array}{|c|c|} \hline \text{月額所得} & \text{円} \\ \hline & \end{array}$$

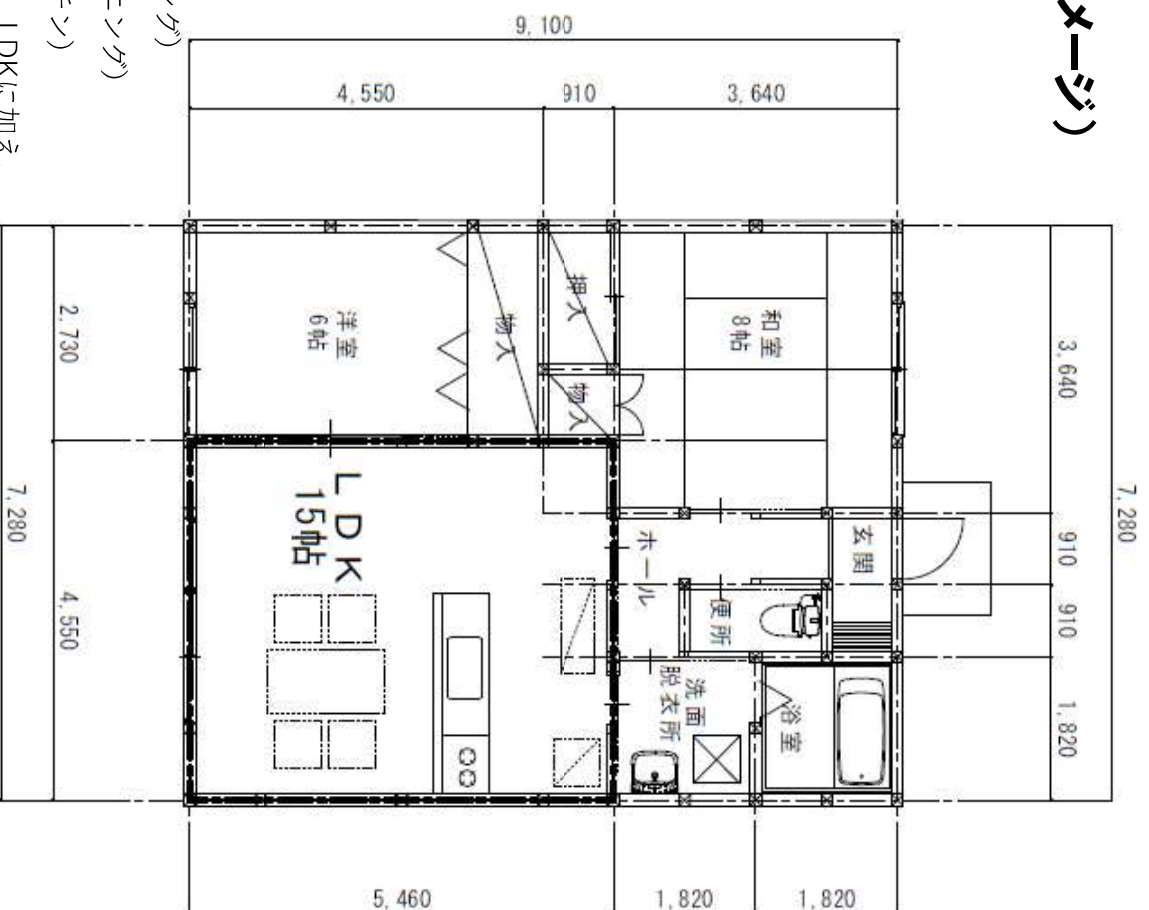
※この計算方法は、自身の家賃がどの程度か把握するための簡易な方法です。

## (2DK・2LDKイメージ)



D (ダイニング)  
 K (キッチン)  
 2DKは、DKに加え、  
 2つの居室。

2DK 53.8㎡



L (リビング)  
 D (ダイニング)  
 K (キッチン)  
 2LDKは、LDKに加え、  
 2つの居室。

2LDK 66.2㎡

# 住宅の再建等に関する 意向調査(第2回)の実施について

## ＜実施目的＞

以下の方への住宅再建に関する意向確認

- ① 「町営住宅」への戻り入居をお考えの方
- ② 上記①以外の再建をお考えの方

## ＜実施期間＞

令和2年8月12日(水)～令和2年8月21日(金)

## ＜回答期限及び方法＞

令和2年8月21日(金)

同封の返信用封筒にて本調査票を郵送願います。

## ＜対象者＞

住宅の再建等に関する意向調査(第1回)において「再建済」と回答された方以外の方

**本調査は、災害公営住宅、町営住宅への入居申し込みではありません。**

丸森町役場 建設課 建築住宅班  
☎0224-72-3032

丸森町役場 被災者支援室  
☎0224-87-7225

下記必要事項を記入のうえ

次ページから順に選択又は記入ください。

注:無記名及び複数回答、記入漏れがないようお願いします。

世帯主氏名

年齢： 歳

上記署名により丸森町建設課及び被災者支援室職員が「災害公営住宅入居希望者数」把握のため、私及び私と同居する家族の必要な住民登録情報並びに前年の収入状況について関係部署から情報提供を受けることに同意します。

性別： 男・女

被災時住所 〒

現在の住所 〒

電話番号

※日中連絡可能な番号を記載願います。

# 町営住宅戻り入居を希望しますか。

(いずれか1つに○)

※本調査記載時点でのお考えで構いません。

1. 希望します。



次のページへお進みください。

## 2. 希望しません。

あわせて今後の予定等 (1)～(3) を  
選択・記入願います。

(1) 再建方法

- ①新築又は購入
- ②賃貸住宅 (戸建て・アパート等) に入居
- ③すでに再建済
- ④その他 【           】

(2) 再建する場所と具体的な予定地等

- ①丸森町内 (           地区) 例：館矢間地区
- ②丸森町外 (           ) 例：角田市

※右記 (3) へ続く

(3) 再建する時期

- ①令和3年3月まで (今年度内) に再建
- ②令和3年4月～12月まで (令和3年内) に再建
- ③令和4年以降に再建

※具体的に時期が決まっている方は以下に記入願います。

→令和   年   月

**町営住宅戻り入居を希望しない方は以上で意向調査は  
終了となります。本調査票を返信用封筒に入れ郵送願います。**

## 2. 希望する場所は？

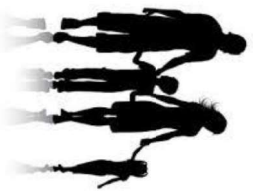
(いずれか1つに○)

1. 神明地区の町営住宅
2. 竹谷地区の町営住宅



## 3. 入居する世帯人数は？

( ) 人



## 4. 同居する家族のうち、日常的にスロープが必要な方(車イス、高齢者手押し車等)はいますか？

(いずれか1つに○)

1. いる
2. いない



## 5. 希望の間取りは？

(該当するところ1つに○)

世帯の人数	1LDK	2LDK	3LDK	2DK	3DK	4DK
1人		X	X		X	X
2人			X		X	X
3人			X		X	X
4人						
5人以上						

※各間取りイメージは同封の「災害公営住宅・町営住宅整備方針説明会資料」及び7ページの「2DK・2LDKイメージ」をご覧ください。

※各間取りの家賃の目安は6ページで計算できます。

※L(リビング)D(ダイニング)K(キッチン)

例：2LDKは、LDKに加え、2つの居室あり。

## 6. 希望する住宅のタイプは？

(いずれか1つに○)

1. 木造低層階タイプ (1～2階)

2. マンションタイプ

(鉄筋コンクリート (RC) 造4階建て)

※マンションタイプはエレベーターがあります。

## 7. 希望する階層は？

(いずれか1つに○)

1. 1階

2. 2階以上



## 8. 現在のペットの有無と状況？

(いずれか1つに○)

1. 飼っていません。

2. 飼っています。

※室内外どちらかに○

①イヌ 匹 (室内・室外)

②ネコ 匹 (室内・室外)

③その他 ( )

匹 (室内・室外)

※ペット同伴入居については検討中ですが、

室外では飼えません。



## 9. 新しい住宅で近所になりたい人はいるか？

(いずれか1つに○)

1. 特にない

2. 被災時住所近隣の人

3. 同じ仮設団地内の人

4. その他

( )

## 10. 車両保有台数？

( ) 台



業務目的の車両は災害公営住宅・町営住宅の駐車場に停めることはできません。

## 車を使用する方の朝の通勤時間は？

1 台目 ( : ごろ)

2 台目 ( : ごろ)

3 台目 ( : ごろ)

4 台目 ( : ごろ)

※世帯全台数分記載願います。

## 11. 入居後の考えについて

(いずれか1つに○)

1. 永住

2. 新築・購入等により、他に住宅を取得したら転居する。

(町営住宅居住予定年数 3 年以上)

3. 新築・購入等により、他に住宅を取得したら転居する。

(町営住宅居住予定年数 3 年未満)

## 12. 住宅に関して不安なこと

※自由記載

意向調査はこれで終了です。お疲れ様でした。本調査票を返信用封筒に入れ郵送願います。

## (参考)町営住宅について

### (1) 町営住宅の整備 (集約・建替) とは

災害により、各町営住宅が被災したため、公営住宅法第36条に基づき、解体・撤去後、新たに整備する町営住宅です。なお、今回の整備においては、丸森町営住宅条例第6条の2第1項第10号の入居者資格の特例により、災害時に被災した町営住宅へ入居していた方 (以下「戻り入居者」という。) を優先します。

### (2) 入居要件

- ① 入居を希望する世帯の合計所得が基準以下の方
- ② 住宅に困窮していることが明らかかな方
- ③ 現在、同居している又は同居しようとする親族がいる方
- ④ 町税等の滞納がない方
- ⑤ 暴力団員でないこと

**①～⑤の全てに該当する方。ただし、戻り入居者は上記要件に関わらず入居できます。**

(⑤を除く。また、④では、滞納があれば納入計画等の提出により完納の見込みのある方)

### (3) 想定家賃

建替する町営住宅は、丸森町営住宅条例に基づき、入居する住宅の規模・設備、所得状況、さらに各世帯の状況によって異なります。そのため、次表は住戸タイプ別の標準的**家賃の目安となります。** (単位：円)

住戸タイプ 月額所得の目安	1LDK(2DK) (45～60㎡)	2LDK(3DK) (55～70㎡)	3LDK(4DK) (65～80㎡)
0～104千円以下	15,000 ～ 20,700	18,300 ～ 24,200	21,600 ～ 27,600
104千円超～123千円以下	17,300 ～ 23,900	21,100 ～ 27,900	25,000 ～ 31,900
123千円超～139千円以下	19,800 ～ 27,300	24,200 ～ 31,900	28,600 ～ 36,500
139千円超～158千円以下	22,300 ～ 30,800	27,200 ～ 36,000	32,200 ～ 41,100

※月額所得の算定は、家族構成等によって異なるため、各世帯の状況を確認した上で家賃を決定します。また、入居後も所得状況等により毎年度変動します。

158千円超～186千円以下	25,500 ～ 35,300	31,100 ～ 41,100	36,800 ～ 47,000
186千円超～214千円以下	29,400 ～ 40,700	35,900 ～ 47,500	42,500 ～ 54,300

※集約建替した町営住宅の月額所得の上限は158千円となりますが、入居する世帯の状況によって、上限を超えても入居できる場合があります。

※上表はR2.6.30現在の丸森町営住宅条例をもとに算出した目安となります。

**裏面で家賃の目安を計算できます。**

# <家賃目安のシミュレーション>

## ステップ1 入居世帯の所得(年額)を計算する。

給与収入	給料・俸給・賞金・賞与等の 支給された金額(各種手当等含む)
年金収入	厚生年金・共済年金・国民年金等の 課税対象となる年金又は恩給の支給された金額
事業収入等 ※給与・年金以外	事業所得・配当所得 不動産所得等の所得(収入から必要経費を差し引いたもの) 保険の外交・個人(企業)年金の給付金など

	給与収入	年金収入	事業収入等 ※給与・年金以外	合計
申込者本人の所得	円	円	円	円
同居親族Aさんの所得	円	円	円	円
同居親族Bさんの所得	円	円	円	円
同居親族Cさんの所得	円	円	円	円
合計	円	円	円	円①

◆給与収入  
勤務先発行の源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」

◆年金収入  
65歳以上：年金収入金額から120万円を差し引いた額  
65歳未満：年金収入金額から70万円を差し引いた額

◆事業収入等  
確定申告書所得金額の合計額

<計算対象としない収入>

- 遺族年金・障害年金・生活保護の各扶助費・通勤手当の非課税額・求職者給付金(失業保険)・児童扶養手当・子ども手当などの課税対象としない収入については「0円」とみなします。
- 生命保険、損害保険の保険金については収入とみなしません。
- 入居契約日前までに退職する場合の収入については、「0円」とみなす。
- 入居資格確認日の時点で、支給額が1か月に満たない収入は「0円」とみなします。

## ステップ2 控除額(世帯の状況)を計算する。

No.	控除名	控除の内容	控除額
1	親族控除	同居する親族(申込人は除く) 及び遠隔地扶養親族	1人につき 380,000
2	特定扶養 親族控除	扶養親族(配偶者を除く)及び 遠隔地扶養親族のうち満16歳以上23歳未満	親族控除の他に 1人につき 250,000
3	障害者控除	障害者手帳(身体・精神・療育)の 交付がされている方がいる場合	親族控除の他に 1人につき 普通障害 270,000 特別障害 400,000
4	老人扶養控除 老人配偶者控除	満70歳以上の同一生計配偶者あるいは 扶養親族がいる場合	親族控除の他に 1人につき 100,000
各種控除の控除額計			円②

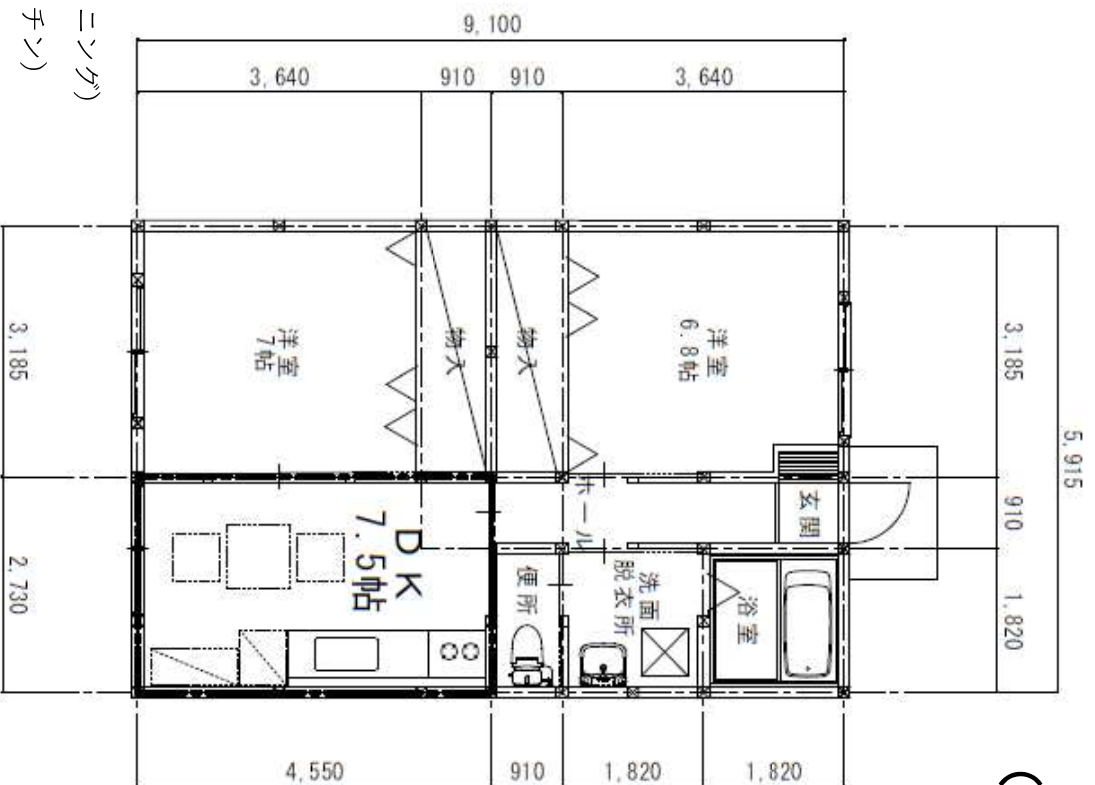
※そのほかに「寡婦控除」「寡夫控除」がございますが、  
控除内容については、お問い合わせ願います。

## ステップ3 月額所得を計算する。

$$\left( \begin{array}{|c|c|} \hline \text{世帯所得の合計} & \text{控除額の合計} \\ \hline \text{円} & \text{円} \\ \hline \end{array} \right) \div \begin{array}{|c|} \hline 12 \\ \hline \text{か月} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|} \hline \text{月額所得} & \text{円} \\ \hline \end{array}$$

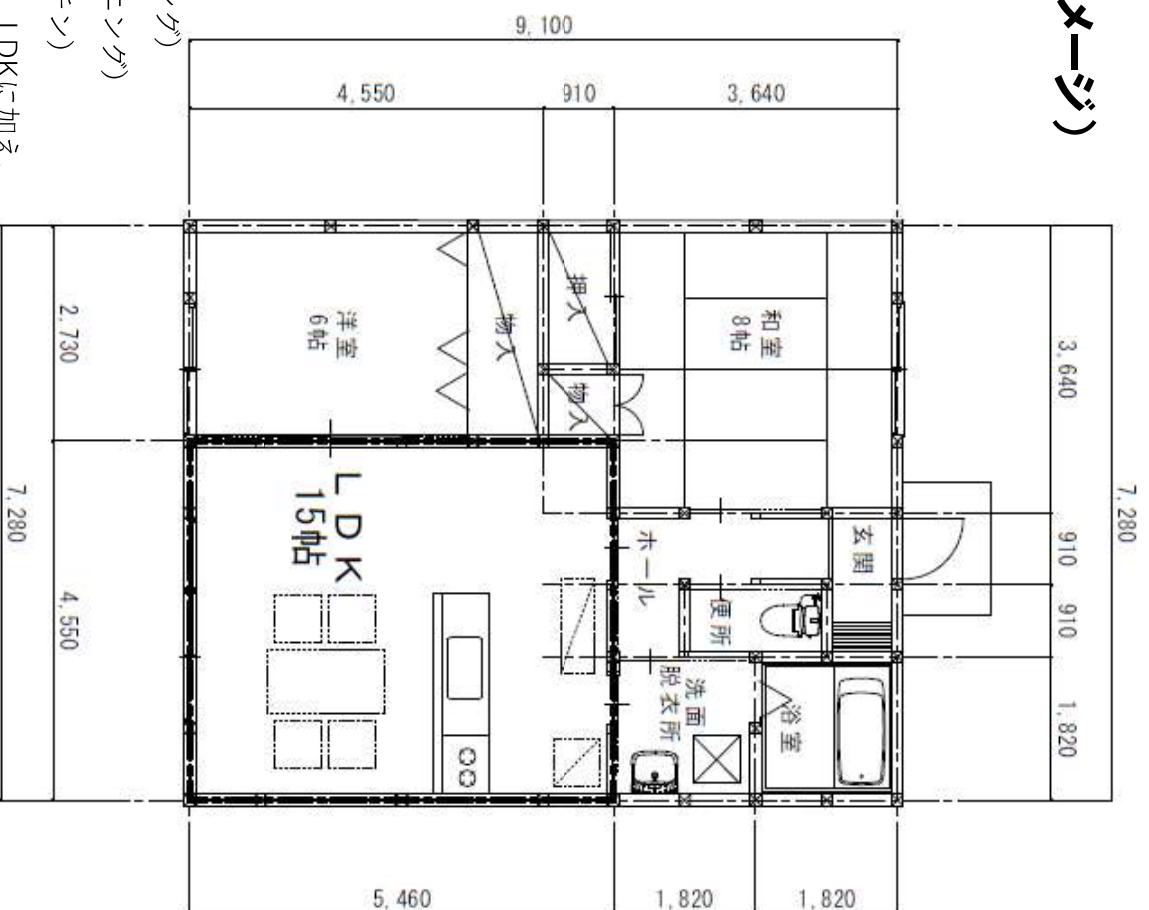
※この計算方法は、自身の家賃がどの程度か把握するための簡易な方法です。

## (2DK・2LDKイメージ)



D (ダイニング)  
 K (キッチン)  
 2DKは、DKに加え、  
 2つの居室。

2DK 53.8㎡



L (リビング)  
 D (ダイニング)  
 K (キッチン)  
 2LDKは、LDKに加え、  
 2つの居室。

2LDK 66.2㎡